



高花平だより

2017. 5. 12
第 3 号

四日市市立高花平小学校

家庭訪問、ご協力ありがとうございました。普段、学校では見られないお子さんの様子やご家庭での子育てのお話などを聞かせていただきました。これからの指導に生かしてまいります。今後とも、いろいろお気づきの点や気にかかることなどがございましたら、担任まで遠慮なくご相談ください。

植物を育てる、観察する、考える

1年生が中庭でアサガオの種を植えていました。1年生＝アサガオというのは昔から変わりませんね。私が小学1年生のときもアサガオを植えました。アサガオの種の形が変わっていることやツルが巻き付くことなどを不思議に思ったり、指で穴を掘って種を植えるという先生の説明を「へえー、そうなんだ」と新鮮な気持ちで聞いたりしたことを未だに覚えています。また、栽培という、私には、ほろ苦い思い出があります。1年生の時、自分が育てていたグラジオラスが、花が咲かずに枯れてしまったのです。うまく育たなかったという体験もりっぱな勉強です。しかし、何十年たっても覚えているということは、やはり子ども心にショックな出来事だったのだと思います。そのような思いをする子がいないようにと、毎年この時期になると思います。

生活科や理科では、それぞれの学年で植物の栽培・観察を行います。2年生はミニトマトを植えていました。3年生はホウセンカ、マリーゴールド、ヒマワリを植え、ホウセンカはかわいい双葉を出しています。ほかに、4年はヘチマ、5年はインゲンマメ、トウモロコシ、カボチャ、6年はジャガイモです。1・2年は植物を育てることを通して関心・親しみをもち、生長の仕方などいろいろなことに気づく学習をします。3年は育ち方の順序と植物の体のつくり、4年は季節による育ちの違い、5年は花のつくりや実をつけるまでの観察・考察、6年は光合成や植物の体内のつくりなどを学習します。このように目的や内容は学年ごとに異なりますが、いずれの学年も、観察を通して知識を身につけるとともに科学的な見方や考え方を育てること、自然に親しみをもち自然環境を大切にする態度を育てることという共通のねらいを持って学習を行っています。

考える授業

5年生が算数の授業で、1cm³の積み木を使って体積24cm³の直方体を作り、その体積を表す式（たて×よこ×高さ）を考えていました。たとえば、「2(cm)×3(cm)×4(cm)」や「1(cm)×6(cm)×4(cm)」などです。子どもたちは24個の積み木を使っていろいろな直方体を作っていました。なかには、積み木を1列に並べて細長い直方体を作った子がいて、近くに座っている子が「それも、あり？」と言いたげな顔つきで見えていましたが、これも立派な「1(cm)×24(cm)×1(cm)=24(cm³)」の直方体です。このように具体物を使うことで、子どもたちは自ら解決方法を生み出すことができたり、友だちの考えと比較していろいろな考え方を身につけることができたりするのです。このような子どもたちが自ら考え、解決していく授業を大切にしていきたいと思っています。

